

血圧を下げる薬について

血圧を、高い状態のまま放っておくと将来、脳血管障害（脳内出血、脳梗塞）や心臓病、腎臓病、動脈硬化などを起こしやすくなります。

高血圧の治療には、食事療法、運動療法、薬物療法などがあります。食事療法、運動療法だけで効果が不十分なときは、薬によって治療すること（薬物療法）になります。



【血圧上昇のしくみ】

一般的に、以下の①～③のようなしくみで血圧が上昇します。

- ①食塩を摂りすぎると、血液中のナトリウム量が増えます。それを薄めるために、血管の中に水分が引き込まれ血液量が増え、血圧が上昇します。
- ②体の中には血管を収縮させる物質があり、これが増えると血圧が上昇します。また、血管の細胞内にカルシウムイオンが増えると、心臓や血管が収縮し血圧が上昇します。
- ③交感神経の活動が高ぶると、心臓や動脈が収縮し血圧が上昇します。

《薬はどのように効くの？》

効き方は薬によって異なりますが、①～③などの作用で血圧を下げます。

- ①尿を出してナトリウムと水分を減らし、血圧を下げます。
- ②血管を収縮させる物質が作られるのを抑えたり、カルシウムイオンが細胞内に入らないよう働きかけて、血管の収縮を抑え血圧を下げます。
- ③交感神経からの刺激を遮断することにより、血圧を下げます。

《副作用は？》

薬によっては、脈が異常に遅くなったり、めまい、立ちくらみ、頭痛、動悸、脱力感、ほてり、空咳（痰の出ない咳）、発疹、かゆみ、眠気などが現れることがあります。

これらの症状以外にも、薬を飲み始めて変わったことがありましたら、医師または薬剤師に相談してください。



お薬についてのお問い合わせ、ご相談は
ご遠慮なく薬剤部へ